

2018年8月
No.18-079a(山)※1

検査中止のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記項目は現行試薬の販売中止により、本年8月30日をもって検査受託を中止させていただきますので、取り急ぎご案内いたします。

先生方にはご不便をお掛けすると存じますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■検査中止項目

頁	項目コード	検査項目名	中止理由
158	8386	RAS 遺伝子変異解析	測定試薬の販売中止

■最終受付日/代替項目

●2018年8月30日(木)

代替検査と致しまして、下記の[1251]RAS-BRAF 遺伝子変異解析をご利用下さい。

詳細は Information No.18-077a(山)※1 をご参照下さい。

項目コード	1251
検査項目名	RAS-BRAF 遺伝子変異解析 ^{*1}
検体量/保存方法	未染スライド 5枚(5~10 μm 厚) ^{*2,3,4} / 室温 [容器形態:30] または パラフィン切片 5枚(5~10 μm 厚) ^{*2,3,4} / 室温 [容器形態:Y9]
検査方法	PCR-rSSO 法
基準値	変異陰性
所要日数	5~9日
検査実施料	4,000点 ^{*5,6} (D004-2「1」悪性腫瘍組織検査(注イ)包括2項目)
判断料	34点(尿・糞便等検査判断料)
備考	<p>*1:ご依頼に際しては、「遺伝子検査依頼書」をご利用下さい。 *2:HE 染色を行い腫瘍細胞が含まれていることが確認できた切片との連続切片(未染スライド)をご提出下さい。 *3:腫瘍細胞の比率が少ない場合、より多い検体を選びご提出下さい。 *4:長期間ホルマリン固定した組織や、ホルマリン固定前に室温放置が長い検体は、DNA の断片化が著しく、解析不能となる場合があります。 *5:切除不能な進行・再発の大腸癌患者における治療方針の決定として、4,000点を算定出来ます(RAS 遺伝子検査、BRAF 遺伝子検査の2項目包括点数として)。 *6:早期大腸癌におけるリンチ症候群の除外を目的に本検査を実施した場合は、BRAF 遺伝子検査として2,100点のみ算定できます。RAS 遺伝子検査の所定点数を併せて算定することはできません。また、マイクロサテライト不安定性検査を実施した年月日を、診療報酬明細書の摘要欄に記載下さい。</p>
検査委託先	LSI メディエンス (→1)